

本時のねらい

・班のなかまを紹介する活動を通して、適切な言語表現を用いたプレゼンテーションの基礎の力を養う。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・パワーポイントを使用することで、見やすくまとめる方法を思考し、発表内容や言語表現を整理する力を身に付ける。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・大型提示装置 ・パワーポイント

本時の展開（全3時間計画：3時間目）

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の流れの説明 ・発表のポイントの説明する。 <ol style="list-style-type: none"> ① 聞く人を見て発表する ② 原稿を見ずに発表する ・発表のまとめ方の例を大型提示装置で見せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明時にパワーポイントを使って説明する。 ・発表の作品例を見せ、イメージを掴ませる。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレット端末を活用することでプレゼンテーションの基本を身に付けるために、班ごとに協力して「班の紹介」をパワーポイントにまとめる。 ・発表する項目の意見を出し合う。 ・それぞれのタブレット端末を使用し、スライドにまとめる。 ・まとめることができたなら、班で発表の練習をする。 ○班ごとに作ったパワーポイントを画面に映し、発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントを使う時のコツ（短く簡潔に表現し、言葉で補足する）を伝える。 ・発表練習では、作成したスライドが伝えたいことを表すことができているかの確認をするよう意識させた。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○発表の振り返り ・項目（発表しての感想、工夫したこと、発表を聞いての感想、改善点、よかった発表とその理由）ごとにまとめる。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：発表の準備場面

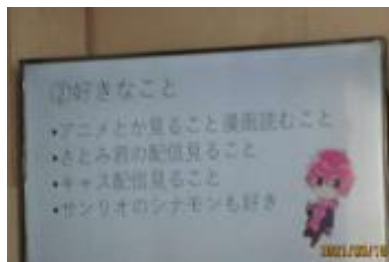


写真2：生徒が作成したパワーポイント



写真3：協力して発表している場面

児童生徒の反応や変容

・テーマを「班のなかまの紹介」にしたことで、班の中で共通して伝えることができる話題を考えるため、班の交流は盛んになった。また、パワーポイントを使うことで、話し方だけでなく、どのように表現（スライドへの文章表記）すれば伝わりやすいかを意見交換している場面が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・導入で発表の例を見せたことで、パワーポイントのスライドのイメージをもつことができ、スムーズに作成することができた。また、発表のポイントを導入で細かく伝えていたため、ポイントを意識して発表する生徒が多かった。
 ・1人の発表を1分程度でまとめるように伝えていたので、スライドを活用して端的に説明しようと意識づけされていた。
 ・スライドを作成していく中で、アニメーションや画面切り替えなどの操作も、想定していた以上に使用している場面が多く、班ごとにオリジナリティーのある作品ができていた。